

平成28年1月 水産物部 主要品目の市況

	種類	品目	市況の概要	H28年1月 数量 (トン)	H28年1月 平均単価 (円)	前年同月比 (数量)	前年同月比 (平均単価)
1	生 鮮	ま ぐ ろ (本まぐろ)	前年同月に比べ、平均単価は低下し、取扱数量は増加しました。	16	3,026	108%	95%
2		め ば ち	前年同月に比べ、平均単価は大幅に上昇し、取扱数量は大幅に減少しました。	4	2,178	51%	141%
3		は ま ち	前年同月に比べ、平均単価は低下し、取扱数量は増加しました。	60	918	127%	83%
4		あ じ	九州中心の入荷となりました。	67	501	111%	104%
5		い か	九州中心の入荷となりました。時化のため、前年同月に比べ、取扱数量は大幅に減少し、平均単価は大幅に上昇しました。	49	673	51%	159%
6		さ ば	三陸、千葉産中心の入荷となりました。単価高となり、取扱数量が減少しました。	47	450	71%	127%
7	冷 凍	め ば ち	入船水揚げが少なく在庫も少ない状況から入荷は前年同月と比べて減少しました。	61	1,157	89%	105%
8		い か	船凍スルメイカは高値で推移しました。	39	605	130%	101%
9		さ ば	ノルウェー産の大型サイズが弱含みでした。その他のサイズはほぼ保合でした。	10	561	95%	113%
10	加 工	さ け ま す	チリ産養殖銀鮭は保合に推移しました。塩紅鮭はほぼ前年同月並みの平均単価でした。	81	833	112%	93%

【用語解説】

保合(もちあい): 価格が動かず同一水準を保っている状態
 強含み(つよふくみ): 価格が高くなろうとしている状態
 弱含み(よわふくみ): 価格が安くなろうとしている状態
 横ばい: 相場が上へも下へも動かないこと